

## グループプロセス・ファシリテーション

担当者	中村和彦（南山大学人文学部心理人間学科 教授） 土屋耕治（南山大学人文学部心理人間学科 講師）
概要	<p>この講座は、人間関係講座（グループ）を修了された方を対象として、グループの人間関係についてより深く理解し、グループに働きかける（ファシリテーション）力を養うことをねらいとして開講します。これまでの「グループ・ファシリテーター体験講座」の内容を見直して開発した、当センター独自のプログラムです。他のグループのファシリテーターとなり（＝外部ファシリテーター）、グループのプロセスを観察して働きかける体験から、グループが自ら進んでいく力を助けるファシリテーションについて体験から学んでいきます。</p> <p>この講座では、参加者は6名の小グループに分かれ、各グループで課題に取り組みます。それらの課題に取り組むグループに、他のグループから外部ファシリテーターとして入り、課題の推進（＝タスク・プロセス）とメンバー間の関係性（メンテナンス・プロセス）に働きかけていきます。ファシリテーターによる働きかけとその影響やグループのプロセスをふりかえるセッションを通して、ファシリテーターの働きかけについて体験から学んでいきます。講座期間中、2回のファシリテーター体験ができる予定です。</p> <p>また、グループやファシリテーションに関する理論からも学びます。小講義として、「グループプロセスを観察する視点」、「ファシリテーションの考え方や働きかけ」、「グループの発達・成長」などが適宜行われます。</p> <p>グループの人間関係についての理解をより深めたいという方、グループプロセスに気づく力を高めたい方、職場のチーム・ビルディングを試みたいというリーダーやマネージャーの方、組織開発のファシリテーションの力を高めたい方、などにお勧めです。</p> <p>気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師のコメントがとても参考になった、メンバーだけでは気づくことができなかった点を挙げてもらえた。</li> <li>・情報量が限定されるオンライン環境だからこそ、講座のねらいにも、自分のねらいにも集中して取り組めた。</li> <li>・小人数に対し、講師2名体制のきめ細かい対応と配慮に満足できた。</li> <li>・人間関係にオンラインは不向きだと思っていたが、オンラインでもかなりの学びがあると思直した。</li> <li>・オンラインだと、遠距離でも参加しやすい。</li> </ul>
日程	2020年 8月29日（土）10:00～18:00 8月30日（日）9:00～17:00 9月19日（土）10:00～18:00 9月20日（日）9:00～17:00 ※合宿講座ではありません
定員	24名
会場	オンライン
参加資格	人間関係講座（グループ）を修了された方、もしくは他の同様の講座を修了された方（「第113回人間関係講座（グループ）夏」が中止になったための対応）。
受講料	受講料 35,420円
メルマガ講座報告	担当講師 中村 和彦 記
	<p>当センターにとっての今年度初めての公開講座として、「グループプロセス・ファシリテーション」が8/29と8/30、9/19と9/20の4日間で行われました。担当者は土屋耕治さんと私、参加者は12名（定員12名）、オンラインでの開催となりました。</p> <p>この講座は、当センターが3泊4日の合宿で実施していた「グループプロセス応用講座」の後継で、プログラムを大幅に見直し設計された、当センターの独自の内容です。グループプロセスを観察する力を養うこと、グループプロセスに気づき、働きかけるファシリテーションの視点や方法、姿勢を学ぶことをねらいとしました。講座内容の特徴は、観察者としてプロセスを観て、報告する機会が多いこと、ファシリテーターとしてグループに働きかける体験をすること、でした。</p> <p>オンライン上で体験学習を行う場合、ファシリテーターがメインに残ると、プレイクアウトルームでの各グループの様子が見えなくなります。今回の講座では、定員を12名と少なく設定することで、グループで課題を実施する時やわかちあいにスタッフ1人が付いて見守ることが可能になりました。</p> <p>この講座は現在のところ、「体験学習ファシリテーション（ベーシック）」との隔年開講を予定しており、次回のこの講座の開催は2022年度の予定をしています。</p>